

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000483	公用車集中管理事業																		
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成21年度			担当部名	財務部													
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	資産活用課													
基本方針	02	時代に即応した行政組織体制を構築する				新規継続区分	継続事業													
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業													
施策						自由区分3	棚卸し未実施													
根拠法令	なし																			
構成予算事業			会計		款		項		目											
810505	公用車集中管理事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費											
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業														
実施方法		直接実施																		
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)																		
実施方法		補助金 (補助先:)																		
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		共有可能な庁舎内所有公用車の集中管理を行い、公用車の効率的運用、経費の削減を図る。																		
対象 (誰・何を対象に)		共有車両19台																		
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>公用車を集中管理することで稼働率の向上に繋がり、効率的運用を図る。 公用車集中管理事業の実施により、車両運用の効率化を進めた結果、当初共用車両から大幅に削減できた。 また、公共施設を多く管理する部局を中心に共用車両を専有使用させることとし、常時公用車を使用しない部局を対象とした共用車両の運用に見直した。 H27に実施したメンテナンスリース車両の導入については、事務量・人件費の削減のため、購入から10年を経過した車両は、更新に際してリース化することを基本とするものであり、今後も更なる経費の節減のためリース化を推進する。</p> <p>H27決算</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費(燃料費・法定点検費等)</td> <td>2,333千円</td> </tr> <tr> <td>役務費(法定点検手数料等)</td> <td>640千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料(公用車リース料)</td> <td>1,221千円</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>73千円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>270千円</td> </tr> </table>									需用費(燃料費・法定点検費等)	2,333千円	役務費(法定点検手数料等)	640千円	使用料及び賃借料(公用車リース料)	1,221千円	公課費	73千円	備品購入費	270千円
需用費(燃料費・法定点検費等)	2,333千円																			
役務費(法定点検手数料等)	640千円																			
使用料及び賃借料(公用車リース料)	1,221千円																			
公課費	73千円																			
備品購入費	270千円																			
関連事業 (同一目的事業等)		なし																		

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	2,930	2,333	7,599	7,301
		使用料及び賃借料	千円	2,793	1,221	0	0
		役務費	千円	753	640	1,903	1,291
		備品購入費	千円	0	270	4,219	0
		公課費	千円	95	73	353	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	138
	小計	千円	6,571	4,537	14,074	8,730	
	B	人件費	千円	2,000	2,000	2,377	1,760
	総事業費(A+B)	千円	8,571	6,537	16,451	10,490	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	194	195	311	340	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	8,377	6,342	16,140	10,150	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000483 公用車集中管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	集中管理台数	目標	台	19	19	37	38
		実績			19	19	38
		単位コスト			238.789	740.737	229.737
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	%	45	45	45	45
		実績			38	35	36
		単位コスト					
	稼働率	目標	%				
		実績					
単位コスト							
稼働率	目標	%					
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		公用車の減車により一定の成果が図れたが、集中管理による稼働率の向上と経費削減を図ることが必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		公用車予約システムにより効率的な管理と稼働率の向上を図る。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		公用車集中管理事業の実施により、稼働率の向上、減車、リース化を図り、コスト削減の効果がある。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 効率的な運用による稼働率の向上とメンテナンスリースの積極的な導入により経費削減を図る。また、安全運行の啓発を行い、車両の保安と維持管理経費の節減に努める。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000482	施設マネジメント事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	財務部			
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	資産活用課			
基本方針	03	健全な財政を維持する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
810542	施設マネジメント事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
810535	市有財産システム管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
810556	固定資産台帳等整備事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	中・長期的な視点により、公共施設の将来フレーム(福知山市の身の丈にあった公共施設総量)を定め、公共施設の選択と集中により、10年間で10万㎡以上、30年間で20万㎡以上の公共施設床面積の削減を図る。計画の実施により、600億円以上の公共施設更新費の削減が見込まれる。									
対象 (誰・何を対象に)	福知山市公共施設									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	<p>福知山市公共施設マネジメント推進本部を設置し、市有財産の効率的な利活用、維持保全を図る。総務省の指導による公共施設等総合管理計画を策定する。 (平成25年度 福知山市公共施設概要調査及びマネジメント基本方針案の策定) (平成26年度 福知山市公共施設マネジメント基本計画の策定) (平成27年度 福知山市公共施設マネジメント実施計画の策定)</p> <p>H27決算 委託料 8,089千円 福知山市公共施設マネジメント実施計画策定支援業務他1件 その他事務経費等 5,974千円</p>									
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	5,000	8,089	12,433	4,375
		賃金	千円	0	3,286	1,431	0
		使用料及び賃借料	千円	0	1,861	2,153	0
		需用費	千円	121	669	57	2
		報償費	千円	0	75	0	0
		備品購入費	千円	0	58	122	0
		旅費	千円	144	25	147	0
		報酬	千円	135	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	24	0	4	1,155
	小計	千円	5,424	14,063	16,347	5,532	
B	人件費	千円	22,491	25,874	9,874	8,000	
	総事業費(A+B)	千円	27,915	39,937	26,221	13,532	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	2,053	
	府支出金	千円	0	2,021	6,016	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
	一般財源	千円	27,915	37,916	20,205	11,479	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		施設マネジメント事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	マネジメント計画の策定	目標	実施計画の進捗管理	実施計画の策定	基本計画の策定	公共施設総量調査
		実績		実施計画の策定	基本計画の策定	公共施設総量調査
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	公共施設総量の削減	目標	12,158	11,360		
		実績		3,989		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	現在の公共施設を維持し続けることは財政上不可能であり、公共施設の縮減・再配置・長寿命化は喫緊の課題である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	現在の施設を利用することにより、便利さや豊かさだけを求めて、公共施設の更新問題を先送りすることは、次世代に大きな負担を押し付けることになる。 公共施設の選択と集中により、施設更新経費のほか、管理経費の削減が期待できる。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	公共施設の統廃合や除却を進めることにより、不要となった財産を売却することによる財源確保と管理費の削減につながる。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 策定した計画に基づき、施設の統廃合や除却を計画的に推進するため、進捗管理を行う。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000484	市有地販売事業								
評価基準年度		平成27年度	事業開始年度		平成20年度		担当部名		財務部		
基本理念		21	質の高い行政サービスの提供				担当課		資産活用課		
基本方針		03	健全な財政を維持する				新規継続区分		継続事業		
施策の大綱							実施計画区分		実施計画事業		
施策							自由区分3		H28棚卸し(公開)		
根拠法令											
構成予算事業			会計		款		項		目		
810541	市有地販売事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費		
810525	普通財産売却収入積立事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費		
810508	財産管理事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費		
810553	市有地販売促進事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費		
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理		(委託先又は指定管理者:)								
	補助金		(補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市有地(未利用地、公社継承土地等)を積極的に売却処分することで財源を確保し、財政の健全化に資することを目的とする。土地売却収入は、鉄道網整備及び関連都市計画事業基金及び第三セクター等改革推進債償還基金に積立有効に活用する。									
対象 (誰・何を対象に)		宅地購入希望者(売買契約者)等									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>市有地の販売促進の強化及び市有財産の有効活用を図るため、売却可能な普通財産について調査し、売却に向けて条件を整えていく。事業用地として保有していた市有地について、事業の見直しを行い販売土地として売却する等を行い、売却可能資産の掘り起こしをすると共に、積極的な販売活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報業務等(入札案内広告、折込チラシ) ・市有地販売看板修繕 ・管理土地除草業務 ・地積更正登記業務 ・不動産鑑定業務 ・土地境界確定委託業務 ・市有地管理工事 									
関連事業 (同一目的事業等)											
事業計画額	コスト	委託料	千円	平成28年度	8,639	平成27年度	3,022	平成26年度	4,982	平成25年度	5,555
		負担金補助及び交付金	千円	2,196	1,996	1,243	322				
		工事請負費	千円	6,600	1,879	0	0				
		需用費	千円	851	560	801	249				
		役務費	千円	2,159	540	915	990				
		旅費	千円	87	205	227	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	94,615	0	261,766	63,743				
	小計	千円	115,147	8,202	269,934	70,859					
	B	人件費	千円	16,549	16,549	16,000	15,400				
	総事業費(A+B)	千円	131,696	24,751	285,934	86,259					
	財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
府支出金		千円	0	0	0	0					
国・府支出金コメント											
地方債		千円	0	0	0	0					
その他特財		千円	95,997	4,083	269,229	62,797					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	35,699	20,668	16,705	23,462						

計画事業評価表

計画事業		000484 市有地販売事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	売払い件数	目標	件	17	14	14	14
			実績			11	20	31
			単位コスト			2250.091	14296.700	2782.548
			目標					
			実績					
			単位コスト					
	成果実績	売払い金額	目標	円	210,000,000	120,000,000	130,000,000	174,000,000
			実績			201,365,780	350,297,884	452,658,500
			単位コスト					
			目標					
			実績					
単位コスト								

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		条例等に基づき売払いを行う。収入金は福知山市鉄道網整備及び関連都市計画事業基金・第三セクター等改革推進償還基金・公共施設等総合管理基金に積立てる。優良な宅地にマイホームを持つことは多くの市民の願いであり、適正評価の宅地を提供することは社会的ニーズである。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		土地売払収入及び固定資産税など、本市の財源確保に関して貢献度の高い事業である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		未活用の市有財産売却は新たな財源確保及び管理費の削減につながる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 現在販売中の土地の完売を目指すとともに、公共施設マネジメント計画の進捗に伴い、その財源として新たに公共施設等総合管理基金造成のため、マネジメント計画により生み出された土地(創出土地)の販売強化に取り組む。普通財産土地や公社継承土地(販売可能地)については、売却が進むにつれて優良宅地が減少し収入が見込みにくくなるため、未利用地等売却可能な資産の掘り起こしを進める。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

計画事業		001034 市民総合賠償補償保険事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	保険金収入件数	目標		10			
		実績			50	38	
		単位コスト			17.660	25.763	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	保険金収入金額	目標	円	500,000			
		実績			122,942,233	21,539,466	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市の主催行事参加者に対する補償金の支払いと瑕疵責任による損害賠償金の支払いに備える保険であり、保険金を支払うことで行政責任を果たし、民生の安定を図るために必要である。 市有物件の損害、被害、加害に対する保険加入として各施設等所管課が支出する掛金の取りまとめや保険請求を行うことで、損害金や補償金を保険金でまかなうことが可能となり、急な支出増を抑制することができる。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		捻挫などの小さな事故から賠償責任に基づく多額の支払いに対応し、市の行政責任を果たし民生の安定を図る。 災害被害や事故に対する被害や補償を保険対応することで財政健全化に寄与する。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事故等発生時に各担当課で初期対応から保険金の支払いまで一貫して行うことで、相手方に対して責任ある対応が期待できる。この中で、掛金支払や保険請求等の保険会社への対応について一本化することで保険会社へのスムーズな対応と省力化を図る。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x				維持	x			x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 加入保険の種類について、府内各市の状況などを調査し現在の加入内容で十分かどうかを検討したところ、概ね本市の加入内容は横並びかあるいは上回っており、現状維持が妥当である。			
成果の方向性	拡充		x																																			
	維持		x			x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		001036 岡地区公益事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	交付金交付件数	目標	件	2			
		実績			1	2	
		単位コスト			1808.000		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	交付金額	円	736,000	736,000		
実績					522,720	655,621	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 (市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)		地域振興のため、岡地区財産からの収益金を岡地区公益事業基金に積み立て、これを岡地区の公益事業に活用する。			
事業の有効性 (上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)		岡地区の公益事業に活用することで地域の振興を図る。			
事業の効率性 (有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)					
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 岡地区財産からの収益金を積み立て、これを財源として岡地区の公益に資する費用に充てるものであり、また、一部は市の財源として活用している旧慣使用権に基づく事業である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			